

令和3年12月20日

「令和3年度 山鳥坂ダム工事事務所 ダム事業費等監理委員会（第2回）」の
審議結果について

国土交通省四国地方整備局山鳥坂ダム工事事務所は、山鳥坂ダム建設事業において、適切な事業執行及び総合的なコスト縮減策等について専門家等の第三者からの意見・提言をいただくため「山鳥坂ダム工事事務所ダム事業費等監理委員会」を下記のとおり開催しました。

記

1. 日時：令和3年12月20日(月) 13:30～15:00
2. 場所：大洲市立肱川風の博物館（大洲市肱川町予子林99番地1）
（委員はオンライン形式で参加）
3. 議事内容
 - ・事務局より、山鳥坂ダム建設事業にかかるダムサイトや事業費・工期の精査結果を説明し、委員から以下のようなご意見をいただいた。

- 地質調査の結果、上流サイトの地質は全体的に良好であることを理解した。
- 上流サイトにおいて、付替県道及び用地買収範囲等への影響を考慮し、予備放流方式を採用することで、現計画と同じ洪水調節容量を確保できることを理解した。また、事前放流にも対応できることも理解した。
- 上流サイトがダムの機能・事業費・工期の観点から最適となるため、ダムサイトを上流に変更する判断は妥当である。
- 上流サイトの精査の結果、事業費約1,320億円、令和14年度完成となることはやむを得ないが、新技術の活用などにより、引き続き、徹底した工期短縮・コスト縮減に努めること。
- ダムサイトや事業費・工期の精査を踏まえ、河川整備計画の変更等の手続きを進めていただくとともに、早期にダム本体工事に着手できるよう適切な事業監理に努めること。

本施策は、四国圏域広域地方計画「No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取組に該当します。

問い合わせ先

国土交通省四国地方整備局 山鳥坂ダム工事事務所

副所長 矢野 慎二

TEL(0893)34-3000(内線204)